

**令和 6 年度 菊池市総合計画及び
菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価審議会 議事録（要点筆記）**

日時 令和 6 年 9 月 17 日（火） 13 時 30 分～17 時 00 分

場所 菊池市役所 2 階 204 会議室

（出席委員）上野 眞也、笠 愛一郎、佐藤 由紀、糸岡 しげ子、錦戸 亨、谷 和彦、
角田 友和、森 智保美、古津 理恵

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議 事

- (1) 菊池市総合計画前期基本計画（令和 5 年度の施策）の評価について

質疑

●横断的項目 1～横断的項目 4

（委員）	住みたい田舎ベストランキングにランクインしたとのことだが、具体的に菊池のどのような所を気に入ってもらってこのような結果が出ているのか。
（執行部）	教育分野や、移住支援金の制度、地域活性化企業人等外部の方を多く受け入れた結果かと考えている。
（委員）	移住定住促進全般に関して、市に移住したいと相談があった方だけが移住者として各種支援が受けられるのか。それとも、TSMC 関係等で単純に転入してきた方も支援が受けられるのか。
（執行部）	ここに記載のある 22 件 83 名は、子育て世帯移住支援補助金というお子さんを連れて移住してくる方を対象としたものであり、それを利用した方の実績となっている。移住者の定義としては、もっと広い範囲になると考えている。
（委員）	結果として、菊池が良いと思って移住してくれた方と、単に仕事の都合や、購入する土地の予算等によって菊池を選んだだけの方もいると思う。前者が菊池を選ぶ要因はどう考えるか。
（執行部）	菊池が良いと思って移住してくれた方に話を聞くと、まず上がってくる意見は「水がおいしい」ということ。次に「温泉がある」「食べ物がおいしい」ということ。地元では当たり前と思っていることが、外から見ると価値があるという事に気づかされたので、そういったことも考慮して今後の施策につなげていきたいと考えている。
（委員）	人口減少対策について、計画策定時には TSMC 関連はまだ話も出ていない時かと思う。この計画の期間はいつまでか。
（執行部）	令和 7 年度までとなっている。

(委員)	次期計画には、是非 TSMC 等の昨今の情勢に対応した計画の策定をお願いしたい。 また、菊池に住居を求めたい人の動向等変わってきていると思われるので対応は必須と思うが、市としての見解を聞かせてもらいたい。
(執行部)	TSMC に関連して、昨年度ゾーニングを設定する等旭志中心に移住者を集めるために補助金等の施策を進めている。移住者の声も集めており、そういった声も今後の施策に活かしたいと考えている。
(委員)	デジタル化の推進について、マイナンバーカードに関してマスコミは問題点等ばかり報道されているが、実際使ってみると非常に便利な部分もあるので、是非利用促進を進めてもらいたい。また、キャッシュレスに関する商工会でも進めているが、インバウンド等への対応も考慮すると早く進めるべき。市役所の窓口ではカード決済はできないし、特定のものだけ使えると言われたが、市役所がそれではいけないと思うので、こちらも併せて広く推進をすべきと考える。
(執行部)	マイナンバーカードについて、できるだけ窓口の簡素化が進むよう、システムの導入等検討している。キャッシュレスについても、他市町村の実績等を把握し随時推進を進めていきたいと考えている。
(委員)	デジタル化の推進について、全体の計画より遅れているとのことであったが、その要因について市の見解を聞かせてもらいたい。 また、市民協働の推進について、外国人の増加があると思うが、従来の市民だけでなく外国人との共生に関する今後の方針等あれば聞かせていただきたい。
(執行部)	デジタル化の推進について、市でアクションプランを作り、進捗管理を行う中で、目標値を定めている。その目標値に到達してない部分があったので全体としてそのような評価をしている。 市民協働について、菊池市でも外国人が急増している現状の中、国際交流協会と連携し交流を進めている。具体的には、昨年度交通マナーや防犯等で不安を抱える外国人のためのセミナー開催等実施しており、今後も継続して様々な施策を検討したい。

●ありたい姿 1 (人が集まる魅力のあるまち)

(委員)	菊池ファンクラブの会員数 6,000 人について、市内内外の内訳は把握しているか。市の魅力の発信にはファンクラブの方に強固な魅力発信を繰り返すことに大きな意義があると思う。さらにそのアプローチの内容について聞かせていただきたい。 企業版ふるさと納税の額について、今後さらに増やせる方向にあるのか。現在の情勢からすると、拡大傾向にあると考えられるので、企業版ふるさと納税を集めるための施策を聞かせてもらいたい。
(執行部)	ファンクラブ会員の市内内外の内訳については、システムの都合上最近

	加入された方々はわかるが、一定時期の過去に加入された方は把握ができないのが現状である。
(執行部)	ファンクラブの方には LINE やメールアドレスを登録いただいているので、そちらに向けて市の情報や菊池一族の字情報を発信している。
(執行部)	企業版ふるさと納税について、誘致企業や連携協定企業に向けたものや、県外の起業への PR 活動等を通して年々増加していると考えているので、今後も継続して増加となるよう施策を進めていきたいと考える。
(委員)	ファンクラブについて、菊池の氏は 30 万人くらいいると聞いている。アプローチするベースの人数がそれくらいいるとなると、目標値も上昇させた方が良く考える。ファンクラブ向けの施策についても、情報発信のみならず更なるアプローチを検討いただきたい。 ふるさと納税について、全国的に多く問題が発生している。菊池市も民間に委託をしているかと思うが、問題なく運営できているかを聞かせてもらいたい。 姉妹友好都市について、今後台湾の都市と締結する予定かと思うが、合併前から結んでいる中国及び韓国の 2 箇所について、合併から 20 年経過するので、整理も踏まえて検討しているか聞かせてもらいたい。
(執行部)	ふるさと納税は、本市も代行業者に委託をしているが、3 年目を迎えるので次年度見直しを検討している。昨今、国からも動きが諸々出てきているので、業者とは適宜情報共有を行っており、全国的にみられるような問題はない。 姉妹友好都市については、中国と韓国 2 箇所と現在締結しているが、実際今全く交流がない所もある。交流の在り方を今年度検討することとしているため、いただいた意見も念頭に置いて今年度の議論を進めたい。

● ありたい姿 2 (地域資源を生かした観光のまち)

(委員)	宿泊者数の伸びは、TSMC の工事作業員の方が大半と思われる。この方々がいなくなったことで、現在宿泊者数は減っていると思われるため、今後の展開の検討が必要と思う。
(執行部)	宿泊者数については、これまで動いていなかった旅館等動き出したところが増えたことが要因と考える。確かに、TSMC 関連も前期は多くいたと思われるし、観光客数も思うように伸びていないことから、観光目的の方の伸びは少なかったと考える。
(委員)	観光に関しては、この間観光戦略会議や温泉街リブランディング等進めているかと思うが、現状観光客数は伸びていない状況であり、オーバーツーリズムとなっているところもあるのにこれでは菊池温泉は厳

	しいと思われる。市として、思い切ってそこに対して投資をしないと前に進まないと思うので、ソフト事業だけにとどまらず、ハードや大きな事業も併せて行ってほしい。
--	---

●ありたい姿3（未来につなげる農業のまち）

（委員）	新規就農者について、猛暑等の気候によって厳しい環境かと思うが、この間新規就農した方はどの程度継続しているか。
（執行部）	各種事情により、辞められた方も若干数いると聞いている。農政課では、営農指導員等が訪問し、相談に乗る等取組は進めている。
（委員）	法人化件数について、農業を大規模化するという方向かと思うが、個人でされている方の生産性を向上させるための支援等の取組は何かあるか。
（執行部）	法人化については、現在の資材の高騰等個人の方が法人化に踏み切るには厳しいタイミングということもあるかと考える。
（執行部）	個人への生産性向上のための支援について、国県の各種補助事業の中に施設整備や生産体制の強化のための個人向けのものもあるため、それぞれの個人の相談内容に合ったもので協力をしている。
（委員）	畜産を廃業されている方について、飼料価格の高騰がそれにつながっているといった記載であるが、それでも継続される方と廃業される方の違いはどう考えるか。
（執行部）	経営規模の大小や後継者の有無等要因は様々であると思われるので、これといった決定的な要因は判断が難しいと考える。資材高騰に対しては、一律した支援を行っている。
（委員）	肉用繁殖牛の飼養頭数について、令和7年度の目標値が令和6年度と比較して下がっているが、下げる必要はあるのか。また、実数としては令和4年度から令和5年度は下がっているが、今後の見通しはどう考えるか。 また、中山間地の耕作放棄地について、耕作者もいなくなり、他に管理してくれる人もいないような状況がある。その部分の対策についてはどう考えるか。
（執行部）	耕作放棄地について、市としても把握はしており、この間も施策は進めてきている。今後の耕作や管理を含めた地域計画の今年度中の策定に向けて進めている。
（執行部）	肉用繁殖牛の数値について、令和5年度及び6年度の目標値は4年度の実績値を踏まえて上方修正している。しかしながら、令和7年度の目標値は、総合計画の中に定めている数値であったことから据え置きとしており、結果として目標値が下がったような表記となっている。今後、令和7年度の数値を変更するかどうかは、事務局と検討したい。

●ありたい姿4（活力ある商工業のまち）

（委員）	新たなビジネス様式の支援について、セミナー等開催して利用者が少なかったとのことであるが、相応しい仕事を提供されなかったのか、副業が難しい方が多かったのかどういったことが原因か。
（執行部）	副業人材活用事業というのは、都市部に住む企業に勤めている方の知識を活かし自身の課題解決を図ることが目的となっている。周知は行うものの、当該セミナーの名称からのイメージで、自社社員の副業をさせるためのものと思われており、この事業の活用に至っていない。現在はこの事業の正しい周知を進めている。
（委員）	この事業に対する菊池市の企業等の需要はあるか。
（執行部）	現在相談があっているのが、販路拡大についてや経営改善の相談が多いので、そこの結び付けを進めている。
（委員）	後継者育成及び事業継承促進について、事業承継推進事業補助金を創設予定とのことだが、事業承継をする人・譲る人どちらに対してのものか。
（執行部）	事業承継する人及び譲る人それぞれに対する2種類の補助金となっている。
（委員）	創業支援について、私は未来創造塾の塾生であるが、商工会でも類似の事業を行っているかと思うが、塾の中で商工会の関わりが見えてこないなので、市と商工会の連携について聞かせていただきたい。
（執行部）	未来創造塾に関しても、個別相談会等商工会と連携を取りながら行っているし、密に連絡もしている。
（委員）	市内3高校の地元就職の促進について、結果として今年度はうまくいかなかったようだが、地元に残ることは非常に重要なことだと思うので、この研修は継続的なものかまた、今後行うのか。
（執行部）	就職を選ぶ前の高校2年生を対象に、菊池の企業等を知ってもらうために実施しており、学校と企業をマッチングしている。市としても、地元に残ってもらうことは重要であると考えており、今後も永続的に続けていく予定。また、最近では、小中学校からも工場見学等の要望もあり、その世代に向けても実施している。
（委員）	創業支援について、地域課題をビジネスで解決するというのは、非常に可能性を感じる取組と感じており、具体例を聞かせていただきたい。
（執行部）	未来創造塾を受講された方で、自身の店舗にて、高齢者向けに小売りを行うといった販売方法を取り入れたり、自身の空きスペースで集客を図る取組をされている方がいる。

●ありたい姿5（安心して子育てできるまち）

（委員）	病児保育の受入率はどういった計算方法か。
（執行部）	計算方法は、利用延べ人数÷（利用延べ人数+定員以上に申し込みがあり断った人数）である。
（委員）	子育て支援の相談について、どのような相談が多いのか。地域支援で解決できるレベルの話なのか。
（執行部）	相談内容は、軽微な子育てに係る相談から、虐待につながるような深刻な相談まで多岐にわたっており、記載の相談窓口には、どちらかと言えば虐待関係の内容が多い。地域への見守りをお願いすることや、関係機関の方との連携を図りながら子育て支援を行っているところ。
（委員）	民生委員や自治会長にも相談するのか。
（執行部）	内容によって対応は異なる。民生委員の対応が必要な際には連携するが、どちらかと言えば、学校の先生やサービスの事業所が主になっている。

●ありたい姿6（健康で豊かに暮らし続けられるまち）

（委員）	乳がん検診について、無料クーポンを廃止した結果受診率が下がったとあるが、健診から乳がんが発見される方が多い中、クーポンを廃止した理由を聞かせていただきたい。 また、困窮者支援について、菊池市は非常に手厚いと思っているが、最近では困窮者支援に加え、DVや離婚、虐待まで合わさった案件が多く、複合的な支援が必要と感じている。
（執行部）	クーポンの廃止については、全世代向けは市の独自事業であり、医師会とも協議し5年継続して行った所で期間満了となり廃止したところ。国が行う40歳向けのもはまだ残っている。今後、今回の結果を受けて検討を行う。 委員の言うように、最近では複合的な問題が重なっているケースが多くなっており、市では4月より「福祉まると相談室」を立ち上げ、そういった複合的な問題に早期に対応できるよう体制を整えている。
（委員）	障がい者雇用について、TSMCでも何百人と採用していると聞くと、法定雇用率もあるので、そういったチャンスがあると思うので、今後の見通しを聞かせていただきたい。
（執行部）	記載の分については、就労支援事業所から一般事業所への移行という部分の数値で上がっていないと記載している。通常の就労支援事業所では言われたように需要が増えてきているとは思いますが、昔から採用をしてもらっていた作業所のようなところでは、そこまで増えてきていないのが実情である。
（委員）	健康づくりについて、様々取り組みを進めているかと思うが、その結果

	として、平均寿命や健康寿命が延びたといった成果は出ているのか。そういう成果が出ていれば、まちづくりや市の魅力発信につながると考えられるかと思う。
(執行部)	健康寿命の向上等は数値として分析・把握ができていないのが現状。ご指摘のように市としても健康づくりの観点からも重要と考えている。
(委員)	実際健診等多く行われているが、医学的にも健診が健康寿命の増加や医療費削減につながっているかを判断するのは難しい。政策を通して受診率の向上を図っているのは大変かと思うが、時代に沿ったやり方等をその都度検討していくことが大事かと思う。

● ありたい姿 7 (自然に優しい環境に配慮したまち)

(委員)	温室効果ガス削減について、何が要因でこれだけ減ったと考えるか。
(執行部)	市が所管していたごみ処理施設の廃止が主な要因と考えている。その他、庁内での公用車の適正な運用・管理や必要ない箇所の照明の消灯など、日々の努力が繋がっていると考える。
(委員)	地下水質のモニタリング調査の結果はどうか。
(執行部)	硝酸性窒素濃度について一概に増加または減少等の判断は難しいと考える。七城地域の地区によって微増や微減の所もあれば、地区によっては、基準値を超えている所もある。
(委員)	硝酸態性窒素が増えた要因は何と考えるか。
(執行部)	要因はいくつかあると考えられるが、主なものとしては、畜産糞尿堆肥の散布、生活排水の影響と考える。そういった状況下において、関係課と横断的に連携し、農家への散布後の早期の鋤き込みや作付け等の指導の他、パトロールの実施等対策している。
(委員)	モニタリング調査を行っている地域は、水道設備はあるか。
(執行部)	本市区域のうち七城地域は上水道未普及地域であり、熊本大学との共同研究による調査を行っている。それ以外の地域は、県事業または市事業により、飲用やその他の用途などの代表井戸を選定して調査している。また、調査結果等に基づく飲用指導の他、浄水器設置補助事業の勸奨事業も行っている。

● ありたい姿 8 (誰もが地域で交流できるまち)

(委員)	直近で取り組んでいるハード事業はあるか。
(執行部)	ここ数年で取り組んでいる事業としては、もりまち・はなまち・かわまち事業に取り組んでいる。その中でも、直近で整備したものは迫間川周辺の整備を中心に行ったかわまちづくり事業である。

(委員)	ここ十数年思い切ったハード整備事業が見かけられない。思い切った取り組みもそろそろ取り組まないと、市民任せだけでは大きな効果は出ないと考える。是非景観整備等の大きなハード事業にもチャレンジしてもらいたいと考える。
------	---

●ありたい姿 9 (みんなでつくる安全安心なまち)

(委員)	市内刑法犯罪数が増えているのは、そのような人たちが流れてきているのか。また、増えているものの罪状としては何かが多いか。
(執行部)	警察署からの情報提供によると、おっしゃるような交流人口の増加に伴う件数の増加であり、窃盗や粗暴犯が増えていると聞いている。
(委員)	消防団員定数について、現状でも苦しいという声が多いと感じており、特に山間部は顕著かと思われるので、本当に改善につながっているのかと感じる。 また、犯罪数の所で、青少年の犯罪についての現状を聞かせていただきたい。
(執行部)	消防団員の件について、言われるようなことが実際あるというのは認識している。消防団と協議をしながら、定数削減や支援団員の活用等実情に合わせた変更も行ってきている。今後は、消防団の地域の統合、協働化等検討が必要と考えている。 青少年の犯罪について、国内や県内の情報は把握しているが、市内の状況としては把握ができておらず、回答できない現状である。

●ありたい姿 10 (便利で快適に暮らせるまち)

(委員)	過年度から意見しているが、べんりカーとあいのりタクシーについて、劇的に何かを変えないと全く成り立っていないと考えるがどうか。
(執行部)	コロナの影響を受けてかなり利用者が減っているのが現状。記載のとおり、周知活動や出前講座も取り組んできた。加えて、利用に関するアンケート調査を行い、その結果等も踏まえ、今後、地域公共交通計画の策定を進めている。その計画では、べんりカーとあいのりタクシーの踏襲に限らず、新たなモビリティの検討も行っている。
(委員)	旭志に関しては、産交バスも遠い方では10キロ離れたところにしかバス停がなく、バスに乗るためにバス停までの移動手段がなければ、特にお年寄りには厳しい。そういった所も踏まえて計画策定を進めていただきたい。
(執行部)	旭志は過疎地域でもあるため、今いただいたご意見も踏まえ、今後の計画策定を進めていきたいと考える。
(委員)	べんりカーやあいのりタクシーは、公共交通機関の衰退の補完として

	導入した経緯があるかと思うが、市民はそれより自家用車等が便利と考えているよう。公共交通が流行りというのもあるが、始めてしまったから伸ばすことありきの計画策定にならない様考えてもらいたい。
(委員)	水道事業について、全国的に水道事業の破綻が起こっているが、菊池市はそういった心配はないか。
(執行部)	水道事業の経営の健全化について、令和 5 年度決算における経常収支比率は 116.74%ということで、100%を超えていることから、本市水道事業は安定していると言えると思う。
(委員)	地域公共交通計画はいつから何か年の計画か。
(執行部)	令和 7 年度から 5 か年の計画である。
(委員)	地域交通計画については、広域的な視点も必要と考える。やはり TSMC 関連もあるので、菊池郡市一帯となるものが無いように思うので、道路等ハードのみならず、公共交通や観光など菊池市だけではできない部分もあると思う。是非そういう視点も取り入れた計画の策定をお願いしたい。
(執行部)	広域交通の重要性は市としても感じているところ。現在、菊陽町も公共交通計画を策定中とのことで、2 市 2 町や山鹿市とは意見交換をしながら計画を策定しているところ。

● ありたい姿 11 (質の高い学びが人を育てるまち)

(委員)	P46 の「郷土を愛する心を育てる」の 2 つの目標に対する振り返りの記載が入れ替わっていると思われるので、修正をお願いします。
(執行部)	修正させていただく。
(委員)	図書館サービスにおける多文化サービスの利用状況はどうか。
(執行部)	多文化サービスの利用状況について、日本語教室においては、定期的で開催しており、ベトナム人の方を中心に毎回十数名参加はいただいている。しかしながら、集計まではできていないのが現状である。
(委員)	外国人市民に対する記載が、計画内に記載がないのが気になる。選挙権の問題等あるかと思うが、現実的に労働者として市の産業を支えている市民でもあるし、そのような時代になってきていると思うので、次期計画にはそういった部分の記載をお願いしたい。
(委員)	県学力学習調査の小学生の数値が良くない状況だが、要因はどう考えるか。
(執行部)	昨年度からは若干上がってはいるものの、全国平均より低い水準にある。その一つの要因としては、菊池市の小学生はスマホを触る時間が全国と比較して多く、学習時間を十分確保していないことが考えられる。今後は基礎学力の向上につながるよう ICT を活用した展開や、教員の指導等も含めて家庭と学校と協力しながら改善を図りたい。

(委員)	学校も教育委員会も取り組んでもらっているのは常日頃から感じている。特に SDGs 関係の学習や、地域の方と主に実施する学習、プラチナ等の取組によって、小中学生の人的・精神的な成長はここ数年で向上していると感じるので、是非こういった取組から学力向上につながるよう施策を推進していただきたい。
(委員)	アメリカでは、学校にスマホを持ち込ませないような法律の策定が進んでいるところもある。デジタル化は確かに教育の面でも豊かにしている部分もあるが、その弊害として、本が読めない子の増加や、デジタルを用いたいじめやフェイク画像等様々問題が発生しているのも事実。デジタルのみならず、ローテクの部分でも菊池ならではの取組を模索し進めてほしい。

●ありたい姿 12 (伝統や郷土を大切にすまち)

(委員)	歴史文化の保存と継承について、現在専門員の配置はあるのか。
(執行部)	文化財の専門員は本庁の文化課に 1 名常駐している。
(委員)	文化財を保存し、市民に見せるような場所はなかなかないことから、本日の文化財はどんどん流出しているように思う。今後こういったものを保存等する施設はどうか。
(執行部)	現在、文化財保存施設を建設するところを進めている。
(委員)	デジタルデータコンテンツ数の活用はどういった状況か。
(執行部)	今年が市政合併 20 周年という事で、これまで集めた旧市町村の昔の写真デジタルアーカイブ「記憶の記録」と称し、本庁及び各支所等で 20 周年記念写真展とコラボ展示を行うこととしている。また、令和 7 年 3 月 22 日開催予定の市民劇の前段でもスライドショーを流すところを進めている。

●ありたい姿 13 (人を大切にする思いやりのあるまち)

(委員)	ふるさと懇談会について、自分も参加したが、参加者が非常に少ない。若い方もほとんどおらず、参加している高齢の方も区の役があつて義務的に参加しているようだった。今後参加者数の増加及び意識向上に努めてもらいたい。
(執行部)	ご指摘の通り、これまではコロナ禍でできていなかったが 5 年度は久しぶりに開催ができたが、参加者がだんだん減っていると感じる。今後は行政区単位の開催のほかにも学校区での開催等より参加者が増えるよう検討を進めていきたい。
(委員)	市職員の女性の役職比率は何%か。
(執行部)	課長以上の管理職で 18%、係長及び課長補佐の監督職で 26.1%とな

	っている。
--	-------

●ありたい姿 14（市民に寄り添う満足度の高いまち）

（委員）	菊池市では、生成 AI について、職員で使用はあるか。あるならばどのような業務に使用されているか。
（執行部）	菊池市では、外部アドバイザーの意見を取り入れながら、今年度以降の本格導入を検討している。
（委員）	市長と語る会については、ここまで参加者数が伸びないのであれば、やり方等再考の余地があると思われる。市長自ら地区等に入って語る等検討していただきたい。
（執行部）	市長と語る会については、コロナ禍の影響もあり、令和 5 年度までは十分な回数開催できていなかったところもある。しかしながら、ご指摘いただいた通り、やり方等も含めて検討していきたい。

●ありたい姿 15（健全で効果的な財政運営のまち）

（委員）	地方債現在高の削減について、健全な財政運営は良いことかと思うが、ただお金を使わないではいけないと考える。しっかりと施策を進めるために時にはしっかり予算を使うことも必要と考える。
（執行部）	財政運営については、中期財政計画に基づき健全な運営となるよう努めている。もちろんその中で、総合計画に基づいた実施計画書に基づく必要な事業を遂行している。

- (2) 菊池市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和 5 年度の施策）及び
地方創生関連交付金活用事業の評価について

（委員）	お試し住宅利用者が 90 名とあるが、そのうち移住につながった方はどの程度いるのか。また年代別等データは把握しているか。
（執行部）	令和 5 年度は 9 名の方が移住につながっている。年代別等のデータは把握できていない。

- (3) 答申（案）について

（執行部）	本日の意見を整理し、答申書（案）を事務局で作成し会長及び各委員の確認の後、市へ答申する流れで進めたい。
-------	---

4. 閉 会